

トラックの特性と事故パターン ①車高と事故

(1) 看板等への接触・衝突事故

・トラックは車高が高いために、車体上部が看板等の高所の工作物に接触・衝突する事故があります。

①看板やひさしへの接触事故は、ほとんどの場合、程度の軽い物損事故であるために軽視されがちですが、なかには高額な物もあります。

②鉄道などの高架橋下のトンネルに衝突した場合には、列車の運行をストップさせるという重大な事態を招くおそれもあります。

③工場内にパイプラインが引かれている場合、そのパイプラインに車を引っかけてしまったために、工場のラインがストップした場合には、莫大な損害賠償を請求されることもあります。



■自分が運転しているトラックの車高を把握し、上方によく注意するとともに、通行できるかどうか迷ったときは、施設の管理者に聞いたり、降りて確認するなどの慎重な運転が必要です。

★接触事故防止のチェックポイント

- ① 自車の高さを正しく把握しているか。
- ② 道路の左端に寄るときや工場内を走行するときなどは、上方に注意をしているか。
- ③ 高架橋やパイプラインなどの高さを確認しているか。

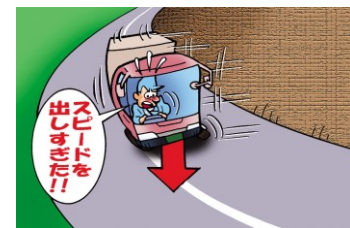
(2) 右左折時やカーブでの横転事故

・トラックは車高が高いために重心も高く、カーブ走行時や右左折時には遠心力の作用によって横転する危険性があります。

■遠心力はスピードが速いほど大きくなりますから、カーブ走行時や右左折時はスピードを十分落とすとともに、ハンドル操作やブレーキ操作も慎重に行う必要があります。

★横転事故防止のチェックポイント

- ① 重心が高くないような積み付けをしているか
- ② 右左折するときやカーブの手前ではスピードを落としているか
- ③ ハンドルを小刻みに切っているか



(3) 追突事故

・トラックはアイポイント（視点）が高いために、車間距離を詰めて走行しがちであり、また前方がよく見えるためにかえって直前を走行する小さな車に対する注意が欠けて追突する危険があります。

■アイポイントが高く前方が開けているということは、前方の交通状況を早くつかむことができるという大きなメリットがある反面、直前にいる車を見落としやすいという「落とし穴」があります。

★追突事故防止のチェックポイント

- ① 前車に接近しすぎていないか
- ② 前車（特に小型車）の動きに注意しているか
- ③ スピードを出しすぎていないか

